



Internet Week 2010 D1-4

ホスティングサービスの拡張という視点
2010年11月24日 株式会社ビーコンエヌシー



クラウド (IaaS) ってなんですか？

- ホスティングサービスとは違うんですか？
 - NISTの定義によると....

Cloud computing is a model for enabling convenient, on-demand network access to a shared pool of configurable computing resources (e.g., networks, servers, storage, applications, and services) that can be rapidly provisioned and released with minimal management effort or service provider interaction. This cloud model promotes availability and is composed of five essential characteristics, three service models, and four deployment models.

以下略

各社クラウドサービス

- オンデマンドで、リソース増減可能です！
 - 顧客：Autoscallingもサポートしていないのにクラウドなの？
- 時間課金します！
 - 顧客：単なる時間貸しのホスティングじゃん
- 迅速にリソースをご用意できます！
 - 顧客：XXもかかるの？（“Rapidly”ってどれぐらいだと“Rapidly”でしょう？）

クラウドって...

Cloud computing is a model for enabling convenient, on-demand network access to a shared pool of configurable computing resources (e.g., networks, servers, storage, applications, and services) that can be rapidly provisioned and released with minimal management effort or service provider interaction. This cloud model promotes availability and is composed of five essential characteristics, three service models, and four deployment models.

を満たす、単なるホスティングサービスの拡張版なのでは？

Public Cloudの利点

以下略

みなさん、耳タコですよ？

多くのウェブサイト、後援会、勉強会などで喧伝されている通り。

Public Cloudでは満たせないもの

- 既存環境へのシームレスな配置
 - Bridge接続で実現可能かも...
- 複雑なネットワーク構成が必要なシステム
- Disk I/O保証
- CPU割り当てについての情報
 - Over commitされている？
 - 激安VPSだと速いか、遅いかは同居するVM次第...?
- 特殊なPCIカード等が必要なもの

Private Cloudの利点

- 複雑なシステム構成でも対応が可能
- API
 - Full Open
- サーバリソースの配分が自由に行なえる
- PCIパススルー機能の利用
 - GPUを利用等
- ライセンスの削減（構成次第）

※仮想化をベースとしたPublic Cloudと比較すると、仮想化故の制限は同じ

ハイブリッドホスティング

- それぞれに利点・欠点（制限）がある
 - 従来型のホスティング（物理専用サーバ）
 - Public Cloud
 - Private Cloud
- いいところ取りすれば、お客様はハッピー？

ハイブリッドホスティング

始めてみました

弊社サービス例

ハイブリッド・クラウドサービス
(オプション)

プライベートクラウド型
ホスティング

ハイブリッド・ホスティング
モジュール
HS-TYPE2

ハイブリッドホスティングサービス

ハイブリッド・ホスティング
インフラシステム
HS-TYPE2

AiDC
ホスティング

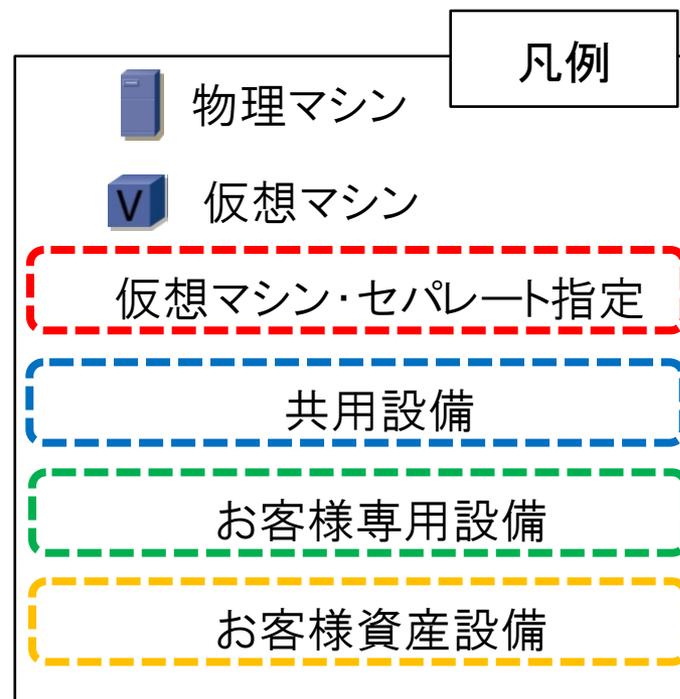
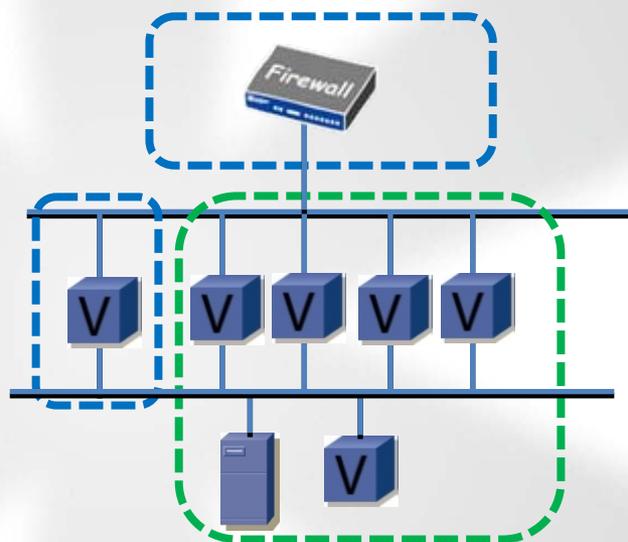
物理サーバ群

弊社仮想化プラットフォーム

- エンタープライズ向けを考慮して作りました
 - VMはCentOS5/Windows2003以降にも対応
 - VMリソース変更(CPU/Memory/Disk/NIC数)
 - VMサーバクローニングサービス
 - VMサーバテンプレート保存
 - VMまるごとバックアップサービス
 - セパレート指定
 - IPv6対応
 - CPUオーバーコミットなし
 - HA標準対応(サーバ機器は電源含め二重化)

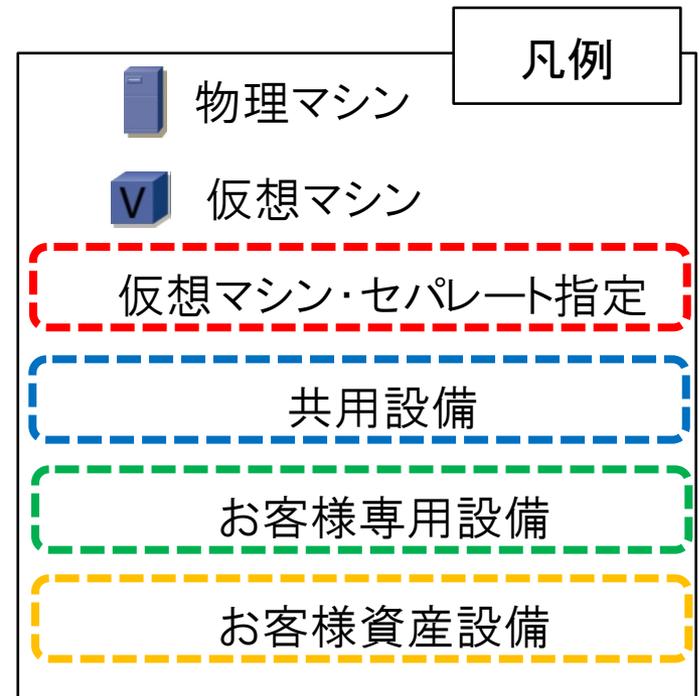
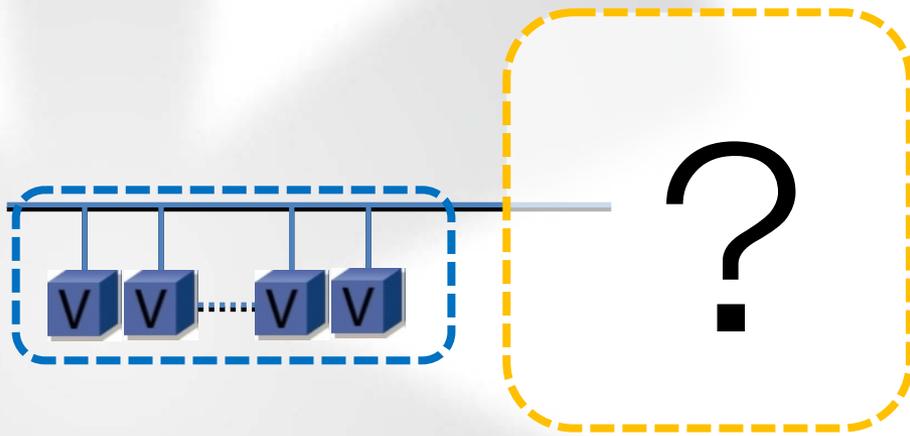
あるお客様の構成例

- Public+Private+物理サーバのハイブリッド



ハウジングユーザーだって

- Public + ハウジング既存設備



それって.....

- 既存環境とのシームレスな提供を目指し、あえてPublic Cloudとしては提供していません。
- 意外と制限のあるPublic Cloud
 - サーバ版のCMSみたいなものか。
 - あえて制限を設けることで、利便性が向上
- Private Cloudだって捨てたもんじゃない
 - 手間はかかる分、柔軟性がある。
 - 規模によっては、Publicよりも安くあがることも
 - 現状、既存のエンタープライズ乗り換えを視野にいれると、Privateを選択せざるを得ないことが多い

Private Cloudに向いているもの

それ Cloudじゃない！、というのは置いていて...

- 高スループットを求められるシステム
 - 必要があれば、物理サーバを組み合わせる
- 性能保証が必要なシステム
- 極度に集約することを目的としたシステム
 - 集約度合いは自身で、決められる

Private Cloudの課題

- P2V/V2Pがまだこなれていない
- ライセンス諸問題
 - 仮想環境に対して、明確なライセンス体系になっていないものが多い
- 仮想アプライアンス
 - 選択肢の幅がまだ狭い
 - ライセンスの発行が遅いものが多い
 - HyperVisorのVersionによって、保証が得られないものも